

習志野市

# 光輝〈高齢者未来計画 2021

《高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画》

令和3（2021）年度～令和5（2023）年度



令和3年3月

 習志野市

## はじめに

我が国は世界に類を見ない速さで高齢化が進む一方で、少子化による現役世代の減少により、人口減少社会という局面を迎えております。

本市においても、総人口は令和7(2025)年をピークに減少に転じ、高齢化率も団塊の世代が75歳以上となる令和7(2025)年には24.1%、団塊ジュニアの世代が65歳以上となる令和22(2040)年度には30.2%に達する見込みです。



今後、医療・介護ニーズの高まりとともに社会保障費のさらなる増加が見込まれます。高齢者保健福祉・介護保険制度を将来にわたり持続可能なものとするため、目前の課題に対処するだけでなく、中長期を見据えた対策が必要となっています。

このような現実を踏まえ、高齢者がいつまでも自宅などの住み慣れた場所で生活を続けられる社会へと前進するために、「習志野市 光輝く高齢者未来計画2021(高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画)」を策定いたしました。

本計画の基本理念は、第7期計画に引き続き、『住み慣れた地域で、健やかに暮らし、やさしさを支え合うまち』としています。「自分に合った生活場所と介護サービスの充実」や「医療と介護の連携体制の構築」、また、自立した日常生活を送り、健康寿命の延伸を図るための「介護予防・日常生活支援総合事業の充実」、さらには、新型コロナウイルス感染症の拡大や、近年多発する自然災害の現状を踏まえ、「災害や感染症に対する備えの促進」を新たに追加する等、『地域包括ケアシステム』を構成する施策や事業のさらなる推進を図ってまいります。

本計画に基づき、私たち行政機関を中心に医療・介護関係者、事業者やボランティア団体など、すべての市民がお互いに関わり合い、心と力を合わせて着実に歩んでゆくことを心より願っています。

最後に、本計画の策定にあたり、万全な感染症対策のもと多大なご尽力を賜りました習志野市介護保険運営協議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提言をいただきましたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

令和3年3月

習志野市長

宮本泰介